

2・2 生活化学部

平成 25 年度は、行政依頼検査として食品中の残留農薬検査、食品、食品添加物の規格基準検査、畜水産食品中の動物用医薬品残留検査及び家庭用品の有害物質検査のほか、熊本県食の安全安心推進条例に基づく県産農林水産物中の農薬・動物用医薬品の出荷前残留検査を実施した。

その他、農林水産部からの依頼による松くい虫防除に使用する薬剤の残留調査を実施した。

主な試験検査及び調査研究の概要は次のとおりである。なお、業務実績表を別表に示す。

2・2・1 試験検査

1) 食品・食品添加物等の規格基準検査

食品中の添加物検査として、保存料、甘味料、酸化防止剤、着色料、漂白剤等の検査を実施した。保存料及び甘味料で使用

基準値超過が各 1 件あった。指定外添加物は検出されなかった。

食品成分規格検査では、清涼飲料水、玄米等について実施したが、基準値を超えたものはなかった。

2) 魚介類の水銀検査

県内で漁獲され、県内に流通している魚介類の総水銀検査を実施してきたが、平成 13 年度からは総水銀検査を保健所試験検査課で行い、当所では暫定的規制値を超える検体について有機水銀検査を実施することになっているが、平成 25 年度は該当する検査はなかった。

3) 畜水産食品中の動物用医薬品残留検査

生産段階で使用される動物用医薬品及び飼料添加物等が、食肉・魚介類等の畜水産食品中に残留している実態を把握するため、食肉、養殖魚介類、牛乳及び卵について、動物用医薬品の検査を実施した。マラカイトグリーン（検体：ニジマス）及びイソプロチオラン（検体：牛乳）の基準値超過が各 1 件あった。

4) 食品中の残留農薬検査

輸入食品を含む野菜、果実、茶等の農作物について、残留農薬試験を実施した。ホスチアゼート（検体：白菜）の基準値超過が 1 件あった。

5) 特定アレルギー物質検査

食品中の特定アレルギー物質（小麦、乳、卵、そば、落花生、及びえび、かに）の表示確認試験を実施した。

表示違反はなかった。

6) 家庭用品中有害物質含有検査

「有害物質を含有する家庭用品の規制に関する法律」に基づき、試買した繊維製品中のホルムアルデヒド及びディルドリン等について検査を実施したが、基準値を超えるものはなかった。

7) 医薬品等に関する試験検査

平成 25 年度は、該当する検査はなかった。

8) 器具、容器包装の規格基準検査

食品の調理、製造加工、運搬及び保存などに用いられる器具及び容器包装については、食品衛生法によってその材質毎に規格基準が定められている。平成 25 年度は陶磁器、ガラス容器、合成樹脂製品について防かび剤、二酸化硫黄、蛍光増白剤、重金属などの試験を実施した結果、限度値を超えるものはなかった。

9) おもちゃの規格基準検査

おもちゃについては、食品衛生法によってその材質毎に規格基準が定められている。平成 25 年度は、着色料、重金属の試験を実施した結果、指定外着色料は不検出であり、重金属の限度値を超えるものもなかった。

10) 食品苦情に伴う理化学的原因調査

平成 25 年度は、該当する検査はなかった。

11) 松くい虫特別防除薬剤残留検査

球磨郡あさぎり町において、平成 25 年 5 月下旬から 6 月中旬に実施された松食い虫防除の影響調査のため、流域の河川水と水源における使用薬剤の残留試験を実施した。

12) GLP に関する精度管理試験

食品衛生外部精度管理調査に参加した。

調査項目は、重金属（Cd）、食品添加物（ソルビン酸）、残留農薬（マラチオン、クロルピリホス、フルトラニル）及び残留動物用医薬品（スルファジミジン）であり、結果は良好であった。

13) 熊本県食の安全安心推進条例に基づく出荷前農薬等残留検査

県産の主要な農林水産物について残留農薬、動物用医薬品の出荷前検査を実施した。食品衛生法の基準値を超えるものはなかった。

15) 危機管理検査

平成 25 年度は、ヒスタミン中毒が 1 件、フグ毒中毒が 3 件（うち 2 件は熊本市で発生、検査を当所で実施。）、キノコ毒中毒 1 件及び全国規模の冷凍食品への農薬混入事件が発生した。

ヒスタミン中毒では原因食品についてヒスタミンの検査、フグ毒中毒では患者の血清・尿・食品残渣についてテトロドトキシンの検査、キノコ毒中毒では患者の血清と推定原因食品（ドクツルタケ）について α -

アマニチン・ムスカリン・イボテン酸の検査及び冷凍食品への農薬混入事件では当該食品中のマラチオンの検査を実施した。

また、野鳥（ヒドリガモ）のへい死事件が発生し、野鳥の胃内容物について農薬（約 470 項目）の検査を実施した。

16) 一般依頼試験

平成 25 年度は、該当する検査はなかった。

2・2・2 調査研究

1) 健康危機に対応した加工食品中農薬の迅速分析法に関する研究

脂肪等を多量に含有するため、分析が困難である冷凍食品中農薬の一斉分析法を開発した。本分析法について、ガイドラインに基づく妥当性評価試験を行ったところ、良好な結果が得られた。

2) 新規登録農薬イソチアニル分析法の開発

厚生労働省通知試験法が示されていない農薬イソチアニルの分析法を開発した。分析対象試料は、当該農薬の使用登録のある玄米及び環境挙動の解析への応用のため土壌とした。

生活化学部業務実績表

分類	事業名	業務	平成 25 年度		平成 24 年度	
			検体数	延項目数	検体数	延項目数
行政 検査	(1) 食品・添加物等の規格基準検査	(イ) 清涼飲料水成分規格	23	90	26	104
		(ロ) 人工甘味料	75	127	73	109
		(ハ) 合成着色料	58	890	54	804
		(ニ) 合成保存料	57	80	72	115
		(ホ) 発色剤 亜硝酸ナトリウム	2	2	1	1
		(ヘ) 漂白剤 二酸化硫黄等	0	0	3	3
		(ト) プロピレングリコール	2	2	2	2
		(チ) 米(玄米)中 Cd	6	6	6	6
		(リ) 酸化防止剤	22	127	31	183
		(ヌ) 防かび剤	8	24	5	20
		(ル) メラミン	0	0	0	0
		小 計	253	1,348	273	1,347
	(2) 魚介類の水銀検査		0	0	0	0
	(3) 畜水産食品中の動物用医薬品残留検査		71	8,877	71	8,782
	(4) 食品中の残留農薬検査	(イ) 野菜,果実,米穀,茶	127	56,034	127	56,135
		(ロ) 輸入・国産食肉	0	0	0	0
		(ハ) 牛乳	0	0	0	0
		小 計	127	56,034	127	56,135
	(5) 特定アレルギー物質検査		47	54	42	52
	(6) 家庭用品中有害物質含有検査	(イ) 繊維製品	30	62	25	50
		(ロ) 家庭用洗剤等	0	0	5	10
		小 計	30	62	30	60
	(7) 医薬品等に関する試験検査	健康食品	0	0	0	0
	(8) 器具・容器包装規格基準検査	材質及び溶出試験	20	56	18	66
	(9) おもちゃの規格基準検査		17	85	12	52
(10) 食品苦情に伴う理化学的原因調査		0	0	0	0	
(11) 松くい虫特別防除薬剤残留検査		14	14	14	14	
(12) GLP に関する精度管理試験	合成保存料,重金属, 残留農薬,合成抗菌剤	4	6	4	6	
(13) フグ毒試験	テトロドトキシン	13	13	0	0	
(14) 熊本県食の安全安心推進条例に基づく出荷前農薬等検査	(イ) 野菜,果実,穀類,茶	69	17,676	66	15,169	
	(ロ) 畜水産物	62	3,848	38	3,932	
	小 計	131	21,524	104	19,101	
(15)危機管理検査		45	2,925	1	1	
合 計		772	9,0998	696	85,616	
一般依頼試験		0	0	0	0	
総 計		772	90,998	696	85,616	